**「日出先照高山之寺」額**

高山寺は1206年に天皇の勅許により創建された。後鳥羽天皇(1180~1239年)は自らが記した勅額をもって土地をこの目的のために利用可能なものとした。この勅額には「日が昇ると、最初に照らされるのが山の中で一番高いところ」という花胎蔵経の一節が含まれた。高山寺の意は「高山の寺院」で、その名称はこの引用文に由来する、それは華厳宗（中国語：Huayan; Flower Garland ）の根本経典である。勅額は現在、石水院の南に掛けられている。